

○主な成果

○情報通信産業

自然災害が少なくBCP(事業継続計画)に最適な都市として高い評価

- ・Yahoo! JAPAN「Yahoo!ニュース」の編集拠点設置(H26年4月)

南海トラフ巨大地震等大規模災害のリスク分散

- ・三井生命保険(株)

「北九州お客様サービスセンター」の開設(H26年10月)

首都圏に集中する本社機能の一部移転

○航空機産業

次世代リージョナルジェット機MRJのフライト関連(飛行試験・駐機)のサブ拠点として、北九州空港の活用の検討を決定

(H26年2月)



「Yahoo!ニュース」の編集拠点



MRJ (三菱リージョナルジェット)

○主な成果

○情報通信産業

- ・ i 6 コンサルティンググループ株式会社
「北九州オフィス」開設（H26年5月）
東京で受託している給与計算、人事業務
の一部移管
今後3年で100名の雇用創出
- ・ 株式会社メンバーズ
「ウェブガーデン北九州」開設
（H27年4月）
ウェブサイトの制作拠点として、
2020年3月までに200名の雇用創出
ITエンジニア、WEBデザイナーなど
高度人材の活躍の場が市内に誕生！



I 6 コンサルティンググループ(株)
「北九州オフィス」開設発表



(株)メンバーズ「ウェブガーデン北九州」
開設発表



北九州市新成長戦略

～リーディングプロジェクト毎の取組状況～

◆工業用水道料金の値下げ決定！（平成26年4月より）

～より使いやすい工業用水が企業の皆様を支援します～

○料金値下げ

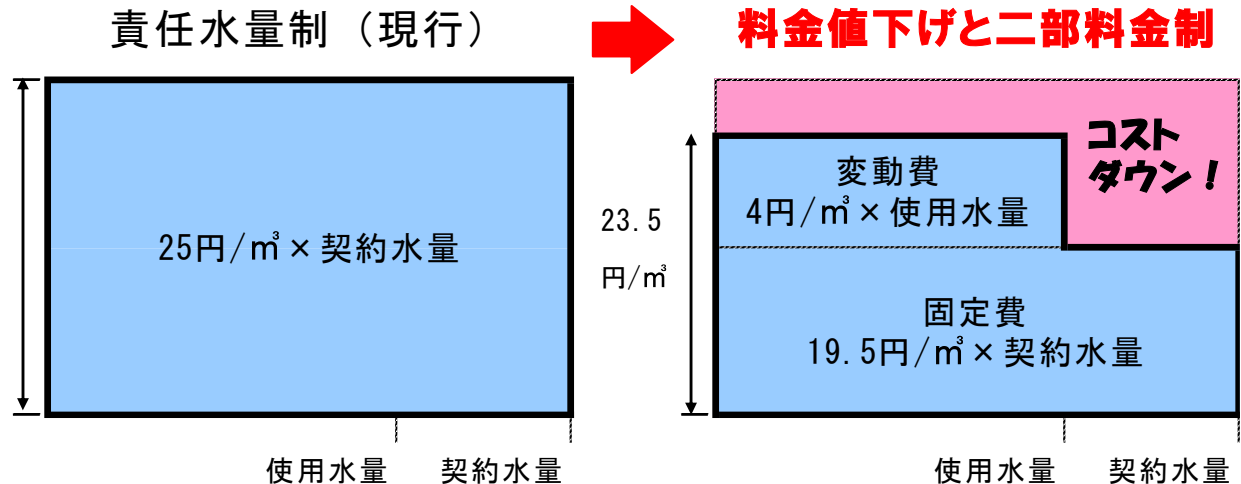
・政令市の工業用水道事業で一番の低料金を実現

契約水量	現行	改正
300m ³ /日以上	25円	23.5円 <small>(基本料金19.5円+基本使用料金4円)</small>
300m ³ /日未満	40円	38円 <small>(基本料金34円+基本使用料金4円)</small>

※料金は、1日1m³あたりの税抜料金です。

○二部料金制の導入

・使用水量に応じた料金体系「二部料金制」を導入



※料金は、契約水量300m³/日以上の場合です。

地元製品・サービスの利活用の推進

地元製品「街かどショールーム」開催

(株)福岡銀行北九州本社ビルにて展示 (H26年5~7月)

エコテクノ2014に出展 (H26年10月)

○展示製品

(株)ケミカルクリエイト エアー・ウォッシュ・フローリング

(有)小倉クリエーション 小倉織を使った製品

(株)シノハラ製作所 スライド式ソファベッド

シャボン玉石けん(株) 無添加石けん他

(株)タカギ ダブル節水機能付シャワーヘッド他

楽しい(株) バイオマスの新資源化システム

(有)ふく太郎本部 ふぐ業界初のHACCP認定工場

地元製品PRホームページ開設

本市で生産された製品やサービスの魅力を
紹介する北九州地元製品PRホームページ

「北九州いいっちゃ!プロジェクト」を
平成27年4月に開設

地元製品「街かどショールーム」



北九州いいっちゃ!プロジェクト



地元企業の高度化・新製品開発支援

(公財)北九州産業学術推進機構[FAIS]では、中小企業の研究開発、設備投資を国等の資金を活用して積極的に支援

○主な取組状況

1. 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）支援

H26年7月採択

「SiC(炭化珪素)セラミックス大幅適用拡大の為に
新規2段反応焼結法（接合・精密加工技術）の開発」
（株式会社フジコー、九州工業大学）

研究開発
を支援

2. ものづくり・商業・サービス革新事業支援

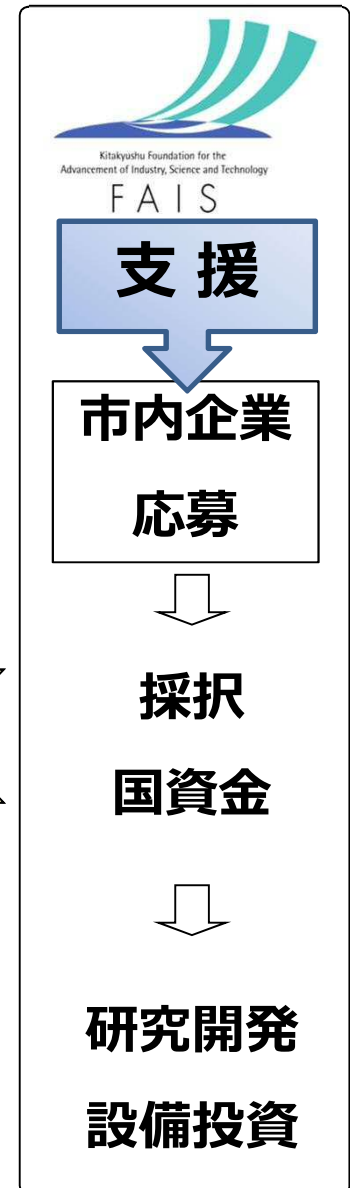
（革新的なものづくりに取組む企業への設備投資資金を補助）

高度化を
実現

H26年4月、6月、9月採択

企業投資経費：7.1億円

補助金獲得額：3.3億円



充実した物流基盤を活用した物流振興

H26年度
雇用創出
3名!

○主な取組状況

■フェリー、RORO航路の輸送力向上

- ①新門司に拠点を置くフェリー3社がH28までに8隻の新造船を投入。
- ②小倉一常陸那珂（茨城県）航路の船舶を大型化。

■新規航路の誘致

- ①コンテナ航路の拡充（43航路）
中国、東南アジア、韓国との間に合計4つの新規航路が開設。
- ②中古自動車輸出の新規航路開設
オーストラリア・ニュージーランドへの新規航路が開設。

■北九州港の取組みをPR

H27.2 東京にて北九州港セミナーを開催



阪九フェリー新造船「いずみ」



北九州港セミナーin東京

次世代自動車産業拠点の形成

○主な取組状況

- 次世代自動車産業拠点化連絡会議設置（H26年5月）
 - ・産学官による推進母体を設立。
- 人材紹介会社との意見交換会（H26年8月）
 - ・人手不足に対応するため、関係者による意見交換実施
- 軽量化部品研究会設立（H26年8月）
 - ・次世代自動車産業への参入を目指す
 - ・部品メーカー17社が参加
- 設備投資アンケート調査実施（H26年8月）
 - ・全国主要3000社を対象
 - ・回答企業を訪問し、本市進出を促す

H26年度
雇用創出
429名!



次世代自動車産業拠点化連絡会議設立

次世代自動車産業の拠点化

○主な取組状況

H26.5 自動運転・安全運転支援総合研究センター開設

- ・北九州学術研究都市の3大学（九工大、北九大、早大）が連携し、人工知能を持つ完全自動運転車両の開発を目指す。

- *交通事故の削減
- *省エネルギー・省スペース化
- *高齢者・要介護者のアシストシステムなど

自動運転実証走行



H26.9 内閣府「SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）

／次世代パワーエレクトロニクス」採択

- ・北九州学術研究都市にて、ハイブリッド自動車向けSiC(炭化珪素)耐熱モジュール実装技術の研究開発を開始。
- ・トヨタ自動車(株)、(株)デンソーなどの大手メーカーの他、地元からは九州工業大学や(株)三井ハイテックなどが参画。北九州産業学術推進機構（FAIS）がサポート。

次世代自動車産業拠点の形成（電気バス）

○ 主な取組状況

○ 「ゼロエミッション交通システム」発表
(H26年2月)

〈スケジュール〉

- ① H26年3月
電気バスの運行開始
- ② H26年10月
再生可能エネルギー（太陽光発電）による運行開始
- ③ H27年4月
大型蓄電池の運用開始

